

＝＝＝クラブ紹介＝＝＝

《このコーナーでは、ガバナー公式訪問で訪れたクラブについてご紹介します》

山本ロータリークラブ

会長 藤原 長五郎 幹事 大沢 郁夫



1973年の創立で、37周年を迎えることとなります。森岳温泉にある丸富ホテルが例会場で、例会は毎週水曜日 12時30分から13時30分に開催されています。地域は、三種町です。チャーターメンバーは28名でしたが、現在は18名の会員です。

クラブの最も得意とする分野に和気あいあいとした例会を挙げておられますが、昨年度の出席率は93.17%と高いレベルにあります。今年度は、他クラブへのメイクも積極的に行い、100%達成を目指して欲しいですね。例会では、4人ずつ分かれたテーブルで食事を摂りますが、食事が終了した後の食器の片付けはロータリアン自身がカウンターまで下げています。例会スピーチは順番が決められており、全員に話す機会が設けられています。

釜谷浜クリーンアップ、国道7号線クリーンアップと小学生を対象としたスポーツ少年団野球大会の主催は継続事業とされています。“山本ロータリークラブスポーツ少年団野球大会”とクラブ名を冠した大会は珍しいのではないのでしょうか。

国際奉仕・ロータリー財団・米山記念奨学会に対する関心の高さは賞賛に値するものがあります。委員会方針の中にも「ロータリー財団は、国際ロータリーの慈善部門で、ロータリーと支援者による自発的な寄付のみで支えられています。よって今年度もロータリー財団寄付目標100ドルを達せして、一人でも多くのポール・ハリス・フェローになれるよう努力する」と明確な目標があり、「米山記念奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生を支援するものです。その財源として今年度も、一人8,000円達成できるよう努力します」と具体的な数値目標を掲げています。

ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付は、世界奉仕の一環であることを意識し、一層の協力をお願いします。

クラブはボランティアであるロータリアンの発想を育てることが大切です。大きなことから、その次に。小さなことから、コツコツとお願いします。



2010/08/04 記)